

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

日本社会は少子高齢化の進行により、子育て支援と高齢者福祉の両立という課題に直面しています。地域においては、安心して子どもを預けられる保育の場が十分でない一方で、高齢者の孤立や介護負担が深刻化しており、家族や地域社会の力だけでは解決が難しい状況にあります。

私たちは、このような社会的背景を踏まえ、「保育」と「介護」を融合させ、世代を超えて支え合える仕組みをつくることを目的として法人を設立することを決意しました。

本法人は、子どもたちに安全で安心できる保育と発達支援を提供するとともに、高齢者に対しては在宅介護支援や生活支援を行います。また、子どもと高齢者が共に過ごし交流できる環境を整えることで、世代間のふれあいを促進し、地域全体に温かいつながりを広げます。

具体的には、一時預かりや発達支援を含む保育サービス、高齢者の在宅支援や見守り活動、さらに子どもと高齢者が一緒に参加できる地域交流イベントを実施します。これにより、子どもには成長の場を、高齢者には生きがいの場を提供し、双方が互いに学び合い、助け合う関係を築いていきます。

私たちの活動は、子どもと高齢者の双方に安心をもたらすと同時に、地域住民全体が支え合う社会の実現に寄与するものです。ここに、特定非営利活動法人結乃の設立を強く提案いたします。

2 申請に至るまでの経過

私たちはこれまで、地域の子育て支援や介護の現場に関わる中で、家庭や地域が抱える大きな課題に直面してきました。

子育て世代においては、共働き家庭の増加により「安心して子どもを預けられる場所が少ない」という声が多く寄せられていました。一方で高齢者の生活に目を向けると、独居や高齢夫婦のみの世帯が増え、介護や見守りを必要としながらも十分な支援を受けられない現状がありました。こうした状況の中で、子どもと高齢者の双方を支える仕組みを地域に根づかせることの必要性を強く感じるようになりました。特に、保育と介護の両方に関わる現場経験を通じて、世代を超えた交流が互いに良い影響を与えることを実感しました。

子どもたちは高齢者との関わりを通じて思いやりの心を育み、高齢者は子どもたちの存在によって生きがいや活力を取り戻す姿がありました。このような経験が積み重なり、「保育と介護を融合した新しい福祉の形」結乃を法人として実現することを決意しました。

以上の経過を経て、ここに特定非営利活動法人結乃の設立を志すものです。

令和7年9月1日

特定非営利活動法人結乃
設立代表者 氏名 越智 麻莉乃